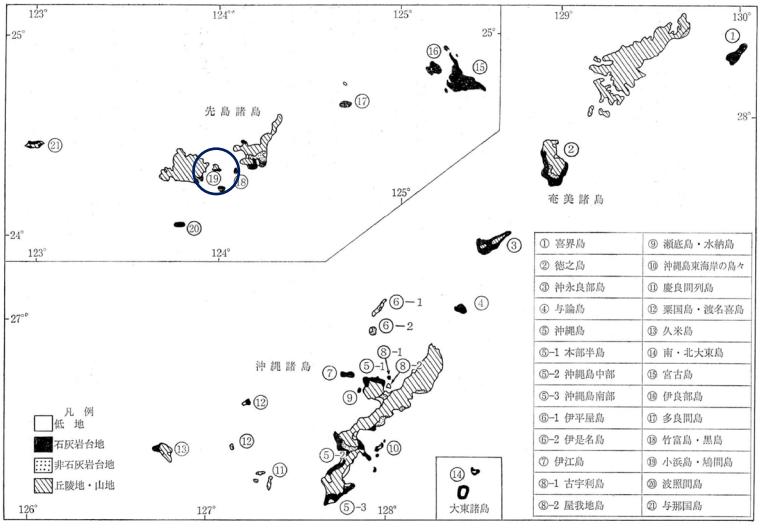
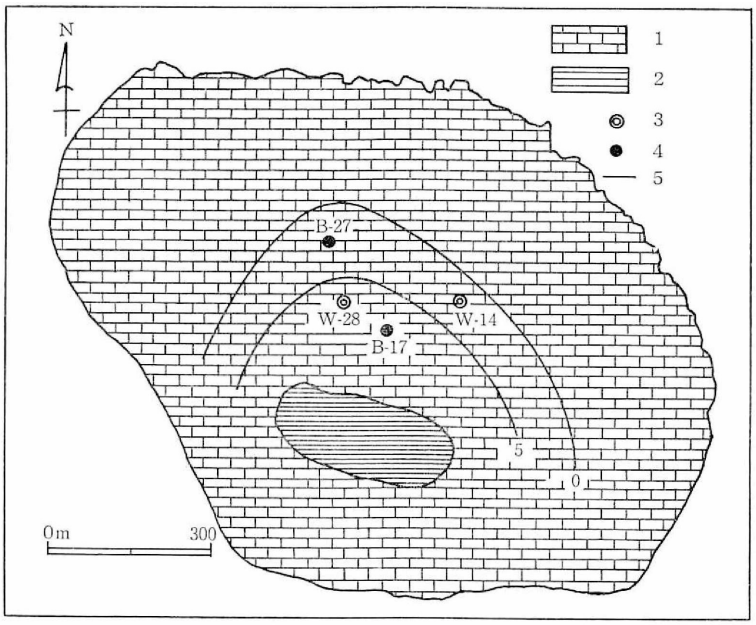
# 19.小浜島・鳩間島






## 地形・地質

小浜島は西表島の東 2km の海上にあり，面積 8.3km$^2$ の小島です。島の北半分は丘陵地形で変成岩類が分布します。南半分は凝灰岩，角礫凝灰岩などの第三紀火山岩類からなり，台地状の地形を形成します。鳩間島は西表島の北約 4km の海上にある面積約 1km$^2$ の小島で，主に琉球層群の石灰岩が島を覆い台地をつくっています。

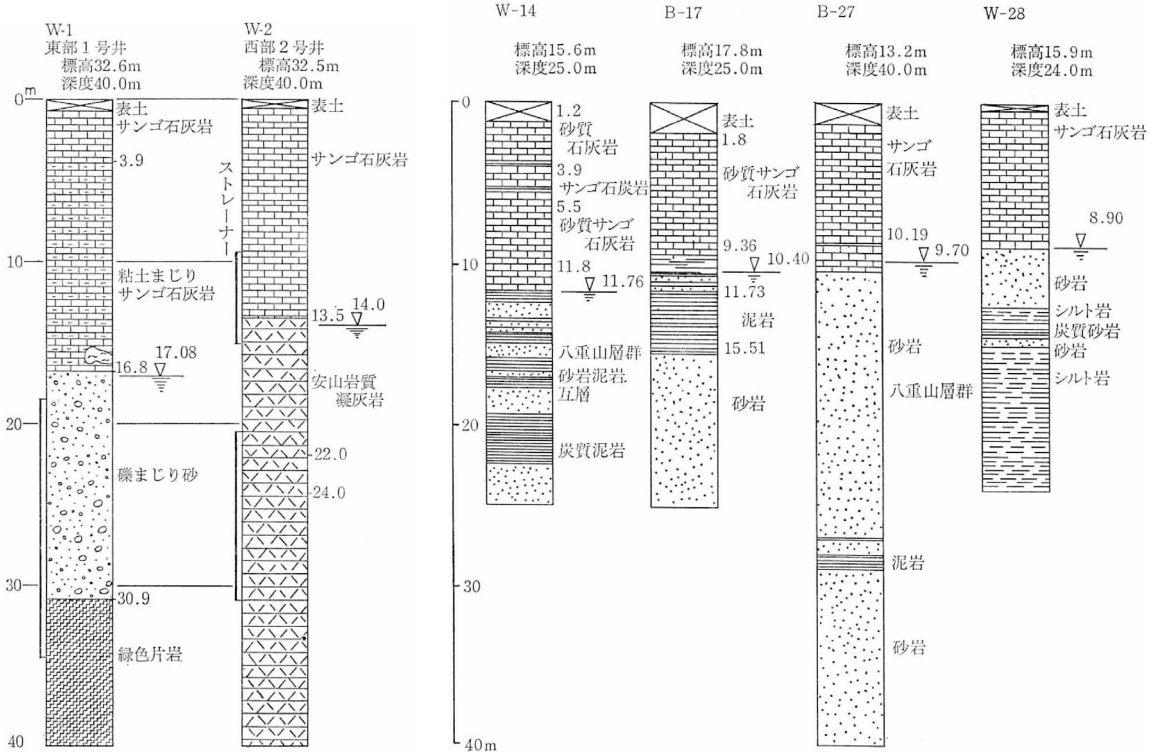



1.琉球層群　2.八重山層群(砂岩泥岩互層)
3.試掘井　4.ボーリング　5.基盤岩等高線(m)

鳩間島の水文地質図

# 地下水

小浜島の地下水は，一部に基盤の変成岩類や火山岩類，主に琉球石灰岩や沖積層に賦存しています。鳩間島の地下水の利用は，降雨を受ける器も小さく，帯水層となる石灰岩の貯留機能も小さいとみられ，量的にはほとんど期待できません。




地質柱状図（左図：小浜島、右図：鳩間島）

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）